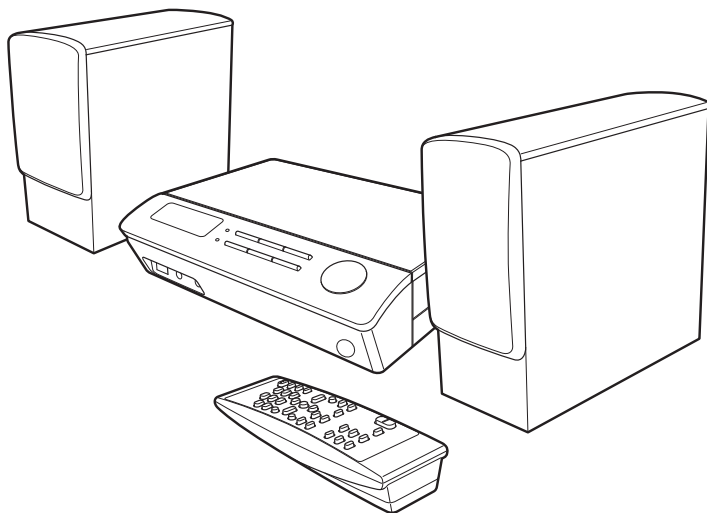
KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

M-EA3

取扱説明書　保証書付

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、この取扱説明書と「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。

Made for iPod iPhone　COMPACT disc DIGITAL AUDIO　MP3/WMA　Bluetooth®

LVT2442-001A

はじめに

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

オートパワーセーブ(節電機能)について

- 本機には、消音状態などが 15 分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、お買い上げ時には有効になっています。(11 ページ)

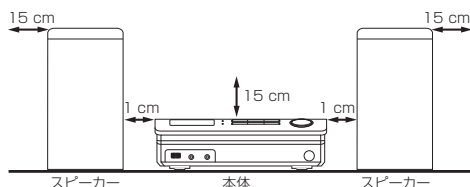
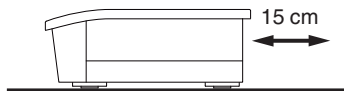
本書の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では MP3/WMA の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」「曲」、「フォルダ」と「グループ」は同じ意味で使っています。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面

側面

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃〜35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

この製品の機種銘板は本体の底面にあります。

レーザー製品についてのご注意

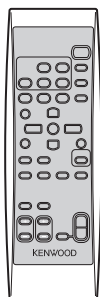
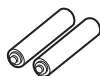
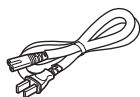
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意:機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

もくじ

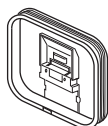
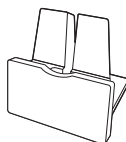
準備

付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

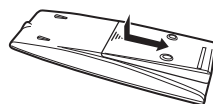
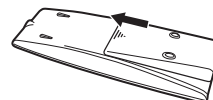
リモコン
RC-F0327（1個）

単3形乾電池（2本）

AC電源コード（1本）

ACアダプター（1個）
AC-200260A

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

iPod用スタンド
（1個）

スピーカーコード
（2本）

リモコンを準備する

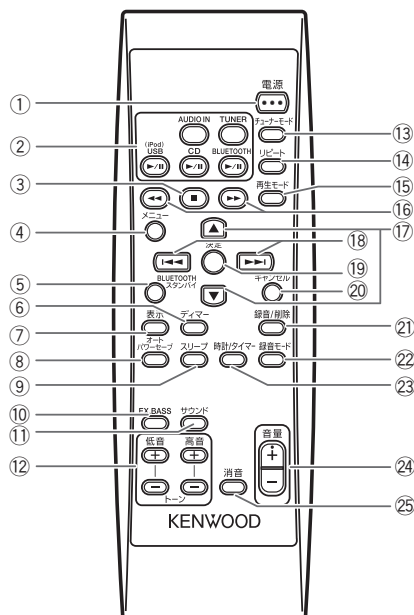
操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

- 電池の＋と－の向きを正しく入れてください。

単3形乾電池（付属品）

- リモコンを操作しても本機が反応しないときは、新しい電池と交換してください。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお使いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

各部の名称

リモコン

① **[電源]**
（10 ページ）

② **[USB（iPod）▶/❚❚]、[CD ▶/❚❚]、[BLUETOOTH ▶/❚❚]、[AUDIO IN]、[TUNER]**
（12、14、19、22、23 ページ）

③ **[■]**
（14、19 ページ）

④ **[メニュー]**
（13 ページ）

⑤ **[BLUETOOTH スタンバイ]**
（20 ページ）

⑥ **[ディマー]**
（11 ページ）

⑦ **[表示]**
（30 ページ）

⑧ **[オートパワーセーブ]**
（11 ページ）

⑨ **[スリープ]**
（27 ページ）

⑩ **[EX.BASS]**
（30 ページ）

⑪ **[サウンド]**
（30 ページ）

⑫ **[低音+/–]/[高音+/–]**
（30 ページ）

⑬ **[チューナーモード]**
（22 ページ）

⑭ **[リピート]**
（13、17 ページ）

⑮ **[再生モード]**
（13、16 ページ）

⑯ **[◀◀]/[▶▶]**
（15 ページ）

⑰ **[▲]/[▼]**
（10、13、22、27 ページ）

⑱ **[|◀◀]/[▶▶|]**
（12、14、15、19、22、24 ページ）

⑲ **[決定]**
（10、13、15、22、23、27 ページ）

⑳ **[キャンセル]**
（10、22、26、28、29 ページ）

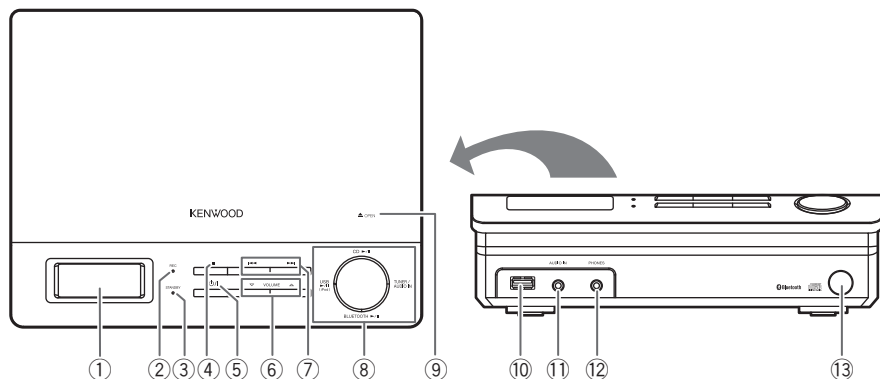
㉑ **[録音/削除]**
（24、26 ページ）

㉒ **[録音モード]**
（24、26 ページ）

㉓ **[時計/タイマー]**
（10、27 ページ）

㉔ **[音量+/–]**
（10 ページ）

㉕ **[消音]**
（11 ページ）

本体上面／前面

① **表示部**

② **REC インジケーター**

録音中は赤色に点灯します。録音が終了すると消灯します。(24 ページ)

③ **STANDBY インジケーター**

電源が切れているときは赤色に点灯します。電源が入っているときは消灯します。

④ **[■]**

(14、19 ページ)

⑤ **[⏻/I] (電源)**

(10 ページ)

⑥ **[VOLUME ▽/△]**

(10 ページ)

⑦ **[|◀◀]/[▶▶|]**

(12、14、15、19、22、24 ページ)

⑧ **[CD ▶/❚❚]、[USB(iPod) ▶/❚❚]、[BLUETOOTH ▶/❚❚]、[TUNER/AUDIO IN]**

(12、14、19、22、23 ページ)

⑨ **[⏏ OPEN](CD トレイ開閉)マーク**

(14 ページ)

⑩ **USB 端子**

(12、14 ページ)

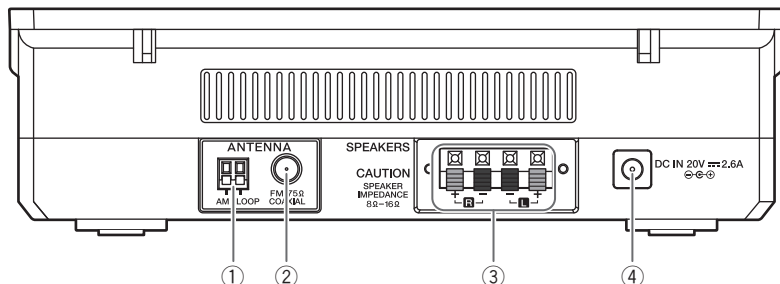
⑪ **AUDIO IN 端子**

(23 ページ)

⑫ **PHONES 端子**

(9 ページ)

⑬ **リモコン受光部**

本体背面

① **AM LOOP アンテナ端子**

(8 ページ)

② **FM 75Ω COAXIAL アンテナ端子**

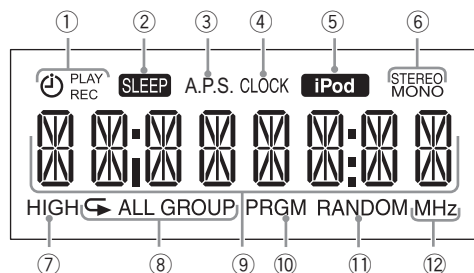
(8 ページ)

③ **SPEAKERS 端子**

(9 ページ)

④ **DC IN 端子**

(9 ページ)

表示部

① タイマーアイコン

（27、29 ページ）

PLAY ： デイリータイマーが設定されているときに点灯します。デイリータイマー動作中は点滅します。

REC ： 録音タイマーが設定されているときに点灯します。録音タイマー動作中は点滅します。

② SLEEP アイコン

（27 ページ）

③ A.P.S.アイコン

（11 ページ）

④ CLOCK アイコン

（10 ページ）

⑤ iPod アイコン

（12 ページ）

⑥ FM モードアイコン

（22 ページ）

STEREO ： ステレオ放送受信中に点灯します。

MONO ： FM モードが「MONO」のときに点灯します。

⑦ HIGH アイコン

（24 ページ）

⑧ リピートモードアイコン

（17 ページ）

： 1 曲リピートのときに点灯します。（「CD」、「USB」）

ALL ： 全曲リピートのときに点灯します。（「CD」、「USB」）

GROUP： リピートの範囲が現在のフォルダ内のときに点灯します。（「CD」、「USB」）

⑨ メインディスプレイ

⑩ PRGM（プログラム）アイコン

（15 ページ）

プログラム再生中に点灯します。（「CD」、「USB」）

⑪ RANDOM アイコン

（16 ページ）

ランダム再生中に点灯します。（「CD」、「USB」）

⑫ MHz アイコン

放送局の周波数を表示するときに点灯します。

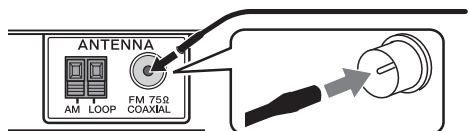
接続

すべての接続が終わってから、電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

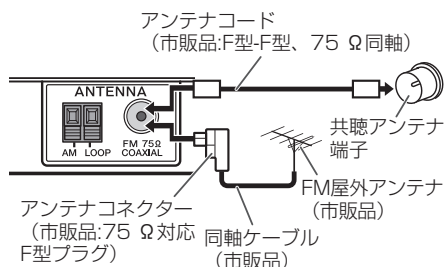
アンテナを接続する

ラジオを聞く前に必ずアンテナを接続してください。

アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

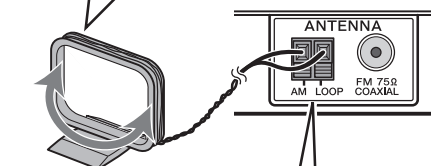
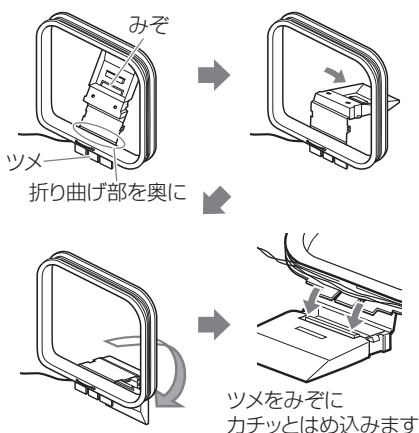
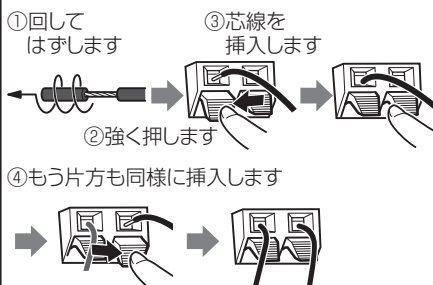
FM 簡易型アンテナ(付属品)

端子の中心部へ差し込んでください。抜け防止のため固くなっています

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。

マンションなどの壁の共聴アンテナ端子またはFM 屋外アンテナを使うとき

- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。

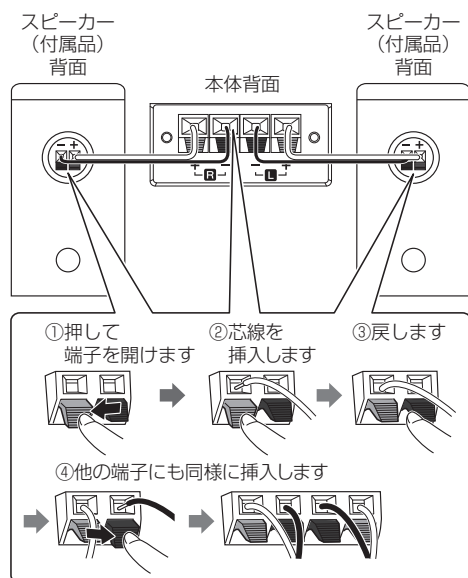
ご注意

- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

AM ループアンテナ(付属品)

ご注意

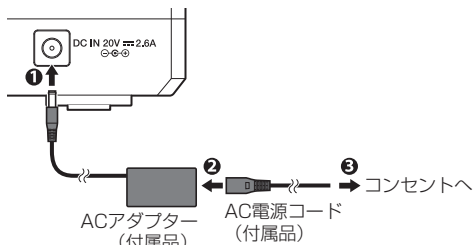
- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

スピーカーを接続する

黒いコードを黒(－)の端子へ、白いコードを赤(＋)の端子へ接続してください。

ご注意

- １つの端子に２つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードの芯線が、スピーカー端子以外の本機の金属部分に触れないようにしてください。
- スピーカーコードを強く押し込みすぎて、ビニールの被覆を端子の中に入れないようにしてください。
- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。ブラウン管テレビの近くに設置するときは、ブラウン管テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。
- スピーカーは２つとも同じものです。(左右の区別はありません。)
- スピーカー前面のネット(サランネット)は取りはずせません。

AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターを本機の DC IN 端子に接続してください。付属の AC 電源コードを AC アダプターに接続してから、コンセントに差し込んでください。

- 出かけるときや長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

ご注意

- 火災や感電を防ぐために
  - 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
  - 付属の AC アダプターを本機以外の製品には使用しないでください。
  - 付属の AC 電源コード以外は使用しないでください。
  - 付属の AC 電源コードを本機以外の製品には使用しないでください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の標準 3 極タイプ･ステレオミニプラグのヘッドホンをお使いください。

基本操作

電源を入れる／切る

リモコン　　　本体

電源　　　⏻/I

- 各音源ボタンを押して電源を入れることもできます。

時計を合わせる

1　時計設定表示にする

- すでに時計を設定している場合は、[時計/タイマー]を押したあと、[▲]/[▼]をくり返し押して「CLOCK」を表示させ、[決定]を押してください。
- 設定中は「CLOCK」アイコンが点灯します。
- 時計表示は 24 時間表示です。

2　「時」を合わせる

3　手順 2 を繰り返して、「分」を合わせる

「分」を合わせると、「CLOCK OK」と表示され、設定が完了します。

お知らせ

- 操作の途中で[キャンセル]を押すと前の手順に戻ります。
- 本機の時計は月に 1、2 分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。

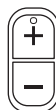
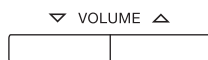
ふだんの使いかた

1　ソース（音源）を選ぶ

リモコン

本体

CD ►/II / USB ►/II (iPod) / BLUETOOTH ►/II / TUNER／AUDIO IN

2　音量を調節する

- 調節範囲: MIN、1 ～ 39、MAX

一時的に消音する

もう１度押すか、[音量+]を押すと元の音量に戻ります。

表示部の明るさを変える

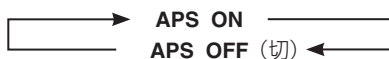
DIM OFF

押すたびに表示部の明るさが切り換わります。

- 設定は電源を切っても記憶されます。

オートパワーセーブ（節電機能）を使う

A.P.S.
APS ON

１度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

- オートパワーセーブが ON のとき、「A.P.S.」アイコンが点灯します。

オートパワーセーブが ON のとき、以下のような状態で約 15 分間何も操作が行われない場合、本機の電源が自動的に切れます。

- 音量が「MIN」のとき、または消音しているとき
- ソース（音源）が「USB」または「BLUETOOTH」で、機器を接続していないとき
- ソース（音源）が「USB」または「CD」で、停止状態のとき
- ソース（音源）が「AUDIO IN」で、音声が入力されていないとき

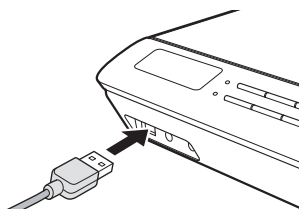
- 15 分間のカウント中は、1 分ごとに「APS」と表示します。
- 本機の電源が切れる約 30 秒前に「APS」表示が点滅を始めます。
- 途中で機器の着脱やボタン操作を行なった場合は、その時点から 15 分間カウントし直します。
- デイリータイマーやスリープタイマーの動作中もオートパワーセーブは働きます。
- お買い上げ時の設定は「APS ON」です。

iPod を聞く

iPod を接続する

iPod を USB ケーブル(iPod に付属または市販品)を使用して本機の USB 端子に接続し、本機から操作できます。

- iPod は、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや iPod のファイルシステムが破損する恐れがあります。

USB 端子に接続する

iPod用USBケーブル
(iPodに付属またはアップル認定の市販品)

- 接続すると、「iPod」アイコンが点灯します。

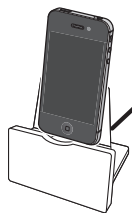
お知らせ

- 接続した iPod は、本機の電源が入っているときに充電されます。

ご注意

- 本機から iPod に録音することはできません。

付属スタンドを使う

本機付属の iPod 用スタンドをご使用いただくと、iPod を立てて置くことができます。

USB ケーブルは、
スタンド中央の窪みから
後ろに通してください。

ご注意

- iPod に USB ケーブルを差してから、スタンドに立ててお使いください。
- スタンドは平らな安定した場所に設置してください。
- 本機の上に設置すると故障の原因となったり、スタンドが落下する危険があります。
- お使いの端末、カバーのサイズによっては対応できないものもあります。

再生する

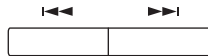
iPod の電源が入り、再生が始まります。

一時停止する

もう 1 度押すと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

早戻し/早送りする

再生中に

シャッフル再生をする

（くり返し押す）

押すたびに iPod のシャッフル再生モードが切り換わります。

リピート再生をする

押すたびに iPod のリピート再生モードが切り換わります。

iPod をスリープさせる

（長押し）　（長押し）

お知らせ

- iPod の種類により、動作が異なることがあります。
- iPod のイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- iPhone または iPod touch の接続中に次の操作を行うときは、iPhone や iPod touch で操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする
- iPod の操作については、iPod の取扱説明書をご覧ください。

iPod のメニューを操作する

1 メニューを表示する

2 項目を選ぶ

（くり返し押す）

前のメニューに戻る

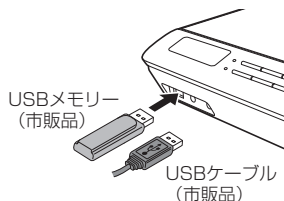
[メニュー]を押す

お知らせ

- 一部の iPod では、メニュー画面の操作を行うときは、iPod で操作してください。

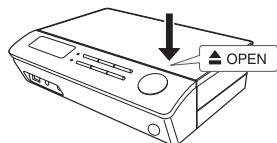
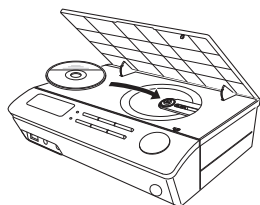
USB 機器/CD を聞く

USB 機器または CD を準備する

USB 機器

- USB 機器は、停止状態で取りはずしてください。再生中または録音中に取りはずすと、ファイルや USB 機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。

CD

1 CD トレイのカバーを開ける

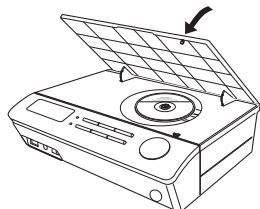
- 手で「カチッ」と押すと、途中まで開きます。そのあと手で開けてください。

2 CD を入れる

- 「カチッ」と音がするまで CD を入れてください。

3 CD トレイのカバーを閉める

再生する

停止する

リモコン　本体

■

- MP3/WMA ファイルは、停止後再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します（リジューム機能）。停止中にもう 1 度 [■] を押すと、リジューム機能は解除されます。
- 他のソース（音源）が選択されると、リジューム機能は解除されます。

一時停止する

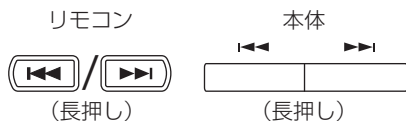
- もう 1 度押すと、一時停止を解除し再生します。

曲を選ぶ

早戻し/早送りする

再生中に

リモコン　　本体

（長押し）　　（長押し）

または再生中に

押すたびに、早戻し/早送りの速度が次のように変わります。
x5 ➡ x10（MP3/WMA ファイルのみ）➡ x1（通常再生）

- 通常再生に戻すには、[USB(iPod) ▶/❚❚]または[CD ▶/❚❚]を押します。

グループを選ぶ（MP3/WMA ファイルのみ）

（くり返し押す）

プログラム再生をする

USB 機器または CD の曲を、32 曲までお好みの順で再生します。

1 **USB 機器または CD の再生を停止する**

2 **「PROGRAM」を選ぶ**

（くり返し押す）

NORMAL ⟷ PROGRAM

3 **登録したい曲を選ぶ**

リモコン　　本体

（くり返し押す）　　（くり返し押す）

- プログラムを登録するときは、グループ番号で曲を探すことはできません。

4 **手順 3 をくり返して、他の曲を登録する**

5 **再生する**

リモコン　　本体

プログラムした順序で曲が再生されます。

- 設定中および再生中は、「PRGM」アイコンが点灯します。

プログラム内容を確認する

停止中に

（くり返し押す）

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

追加したい曲を選ぶ

停止中に

・ プログラムの最後に曲が追加されます。

登録した曲を削除する

停止中に

押すたびにプログラムの最後の曲が取り消されます。

・ 長押しすると、プログラム内容をすべて消去することができます。

プログラム再生を解除する

「NORMAL」を選ぶ

停止中に

（くり返し押す）

NORMAL ←→ **PROGRAM**

プログラム内容が消去されます。

・ 以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。

- 電源を切る
- ソース（音源）を変える
- USB 機器を取りはずす
- CD トレイのカバーを開ける

ランダム再生をする

1 USB 機器または CD を再生する

2 「RANDOM」を選ぶ

（くり返し押す）

NORMAL ←→ **RANDOM**

ランダムな順序で曲が再生されます。

・ 再生中は「RANDOM」アイコンが点灯します。

・ グループ内ランダムではなく、全曲ランダムになります。

・ ランダム再生中に[|◀◀]を押しても、前の曲に戻ることはできません。

ランダム再生を解除する

「NORMAL」を選ぶ

再生中に

（くり返し押す）

NORMAL ←→ **RANDOM**

・ 以下の場合もランダム再生は解除されます。

- 電源を切る
- ソース（音源）を変える
- USB 機器を取りはずす
- CD トレイのカバーを開ける
- 停止する

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に

1 度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

RPT 1 ： 現在の曲をくり返します
設定中は「 」アイコンが点灯します

RPT GR* ： 現在のグループの曲をくり返します
設定中は「 GROUP」アイコンが点灯します

RPT ALL ： USB 機器または CD のすべての曲をくり返します
設定中は「 ALL」アイコンが点灯します

RPT OFF ： リピート再生を解除します

* MP3/WMA のみ

2 （停止中のときは）再生する

リモコン　　本体

/

お知らせ

- プログラム再生中に「RPT ALL」にすると、プログラムをリピート再生します。
- ランダム再生中に「RPT ALL」にすると、ランダム再生をリピートします。

リピート再生を解除する

「RPT OFF」を選ぶ

（くり返し押す）

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース（音源）を変える
  - USB 機器を取りはずす
  - CD トレイのカバーを開ける

BLUETOOTH 機器を聞く

お手持ちのポータブルプレーヤー等の BLUETOOTH 機器の音を本機で聞くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機を登録(ペアリング)する必要があります。

BLUETOOTH 機器を接続する

1 ソース(音源)を「BLUETOOTH」にする

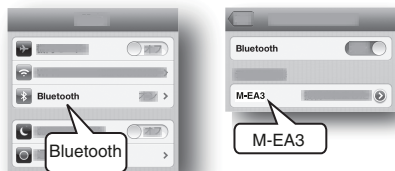
リモコン
BLUETOOTH
►/II

本体
BLUETOOTH ►/II

BT READY

2 BLUETOOTH 機器で「Bluetooth」を「オン」にする

- iPod touch/iPhone および Android 端末では「設定」から「Bluetooth」を選んでください。
- 詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

3 画面に表示された機器から「M-EA3」を選ぶ

ペアリングが完了し、BLUETOOTH 機器と本機が自動的に接続されます。

- 本機に「BT」と表示されます。
- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 BLUETOOTH 機器を再生する

BLUETOOTH 機器の再生音が本機のスピーカーから流れます。

- 自動的に再生が始まる場合もあります。

お知らせ

- BLUETOOTH 機器は 5 台まで登録できます。6 台目の BLUETOOTH 機器を登録すると、接続履歴が最も古い機器の登録が削除されます。
- 「BT READY」表示中に[BLUETOOTH ▶/❚❚]を押すと、本機と最後に接続した BLUETOOTH 機器と再接続することができます。
- 他の BLUETOOTH 機器を再接続するには、「BT READY」表示中に BLUETOOTH 機器を操作して接続してください。
- 接続できないときは、最初からやり直してみてください。

再生する

最後に接続した BLUETOOTH 機器と接続し、再生することができます。

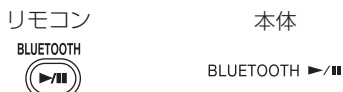
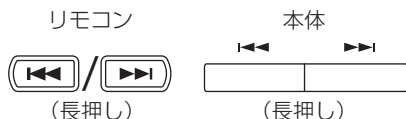
停止する

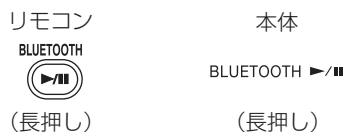
一時停止する

- もう 1 度押すと、一時停止を解除し再生します。

曲を選ぶ

早戻し/早送りする

再生中に

- 通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

接続を解除する

DISCNCT

- 解除が完了すると「BT READY」と表示されます。

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- BLUETOOTH 機器で接続を解除したとき、または BLUETOOTH 機能を「オフ」にしたとき
- 本機または BLUETOOTH 機器の電源を「切」にしたとき(BLUETOOTH スタンバイを除く)

ご注意

- 本機に接続できる機器は、BLUETOOTH バージョン 2.1+EDR、BLUETOOTH プロファイルの A2DP と AVRCP に対応している必要があります。
- BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。

リモコンアプリを使う

BLUETOOTH に対応した Android 端末から、専用リモコンアプリ「KENWOOD Audio Control BR1」を使って、本機を遠隔操作することができます。

リモコンアプリを利用するときは、Android 端末と本機を登録（ペアリング）する必要があります。
（18 ページ）

お知らせ

- アプリは Google Play（Play ストア）から検索して、ダウンロードしてください。
- アプリの画面や内容は変更になる場合があります。
- リモコンアプリを使うためには、お使いの Android 端末が Android OS 2.3 以降で、BLUETOOTH プロファイルの SPP（Serial Port Profile）に対応している必要があります。
- すべての端末での動作を保証するものではありません。

リモコンアプリでは次の操作が行えます。

- 電源の入/切
- CD/USB の音楽再生
- ラジオの選局
- タイマー設定
- 音量の調節
- その他

操作など詳しくは、リモコンアプリのヘルプをご覧ください。

※リモコンアプリの操作画面例です

左：CD 操作画面例／右：FM 操作画面例

ご注意

- リモコンアプリで本機の電源を入れるには、あらかじめ「BLUETOOTH スタンバイ」にしておく必要があります。「BLUETOOTH スタンバイ」については、右記"BLUETOOTH スタンバイにする" をご覧ください。

BLUETOOTH スタンバイにする

BLUETOOTH に対応した Android 端末から、リモコンアプリを使って、遠隔操作で本機の電源を入れることができます。

BLUETOOTH 機器で電源を入れるには、
BLUETOOTH スタンバイにしておく必要があります。

本機を BLUETOOTH スタンバイにする

電源が切れているときに

BT STBY

- BLUETOOTH スタンバイを解除するには、もう 1 度押します。「BT STBY」の表示が消えます。
- 解除するときは 10 秒ほど待ってから解除の操作をしてください。

リモコンアプリで電源を操作する

- お使いの Android 端末にリモコンアプリのインストールが必要です。

1 BLUETOOTH 機器で「Bluetooth」を「オン」にする

- Android 端末で、「設定」から「Bluetooth」を選んでください。
- 詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

2 機器一覧から「M-EA3」を選ぶ

3 リモコンアプリを立ち上げる

4 右下の「設定」アイコンから電源を操作します

BLUETOOTH スタンバイのときに時刻を表示する

- 時刻が数秒間表示されます。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

  –分解/改造すること

  –本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH　：FH-SS 変調方式を表します。
1　：電波与干渉距離は 10 m です。
▭▭▭：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などの、アンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

ラジオを聞く

ラジオを聞く前にアンテナを接続してください。
（8 ページ）

放送局を受信する

1 「FM」または「AM」を選ぶ

2 放送局を選ぶ

長押しすると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

- 選局を途中で停止したいときは、もう 1 度押します。
- くり返し押すと、FM では 0.1 MHz ずつ、AM では 9 kHz ずつ受信周波数が変わります。

FM モードを切り換える

FM ステレオ放送が聞きにくいときは、モノラル受信にすると聞きやすくなります。

1 度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

AUTO ： ステレオ自動受信
受信中は「STEREO」アイコンが点灯します

MONO ： モノラル受信
受信中は「MONO」アイコンが点灯します

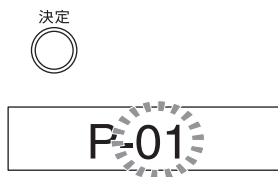
お知らせ

- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。

放送局を記憶させる（プリセット）

FM および AM の放送局を、あわせて最大 40 局まで記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信する

2 プリセット番号を表示する

- 表示が点滅します。
- 表示が点滅している間に、以下の手順を行なってください。

3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

（くり返し押す）

4 記憶させる

- プリセットを中止するには、[キャンセル]を押します。

記憶した放送局を呼び出す

（くり返し押す）

外部機器を聞く

外部機器を接続する

・お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

1 **本機の音量を最小にする**

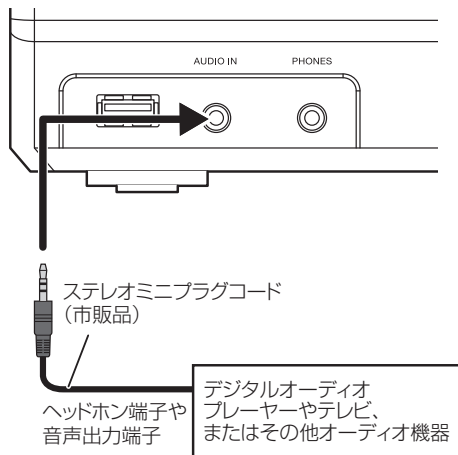
2 **AUDIO IN 端子に外部機器を接続する**

外部機器を聞く

1 **「AUDIO IN」を選ぶ**

リモコン

本体

TUNER／
AUDIO IN
（くり返し押す）

AUDIO IN

2 **外部機器の再生を始める**

3 **音量を調節する**

音声入力レベルを調節する

AUDIO IN 端子に接続した外部機器の音量が、他のソース（音源）と比べて差があるときは、入力レベルを調節してください。

LEVEL 3

・お買い上げ時の設定です

押すたびに設定が切り換わります。

LEVEL 1 ： 通常の音声入力レベル
LEVEL 2 ： LEVEL 1 よりも高いレベル
LEVEL 3 ： LEVEL 2 よりも高いレベル

USB 機器に録音する

CD を録音する

あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ご注意

- 録音する前に、空き容量が十分にある USB 機器を、USB 端子に接続してください。（14 ページ）
- BLUETOOTH 機器から録音することはできません。
- MP3/WMA ファイルを記録した CD-R など、音楽 CD 以外のディスクから録音することはできません。
- 録音中に本機に衝撃を与えたり、揺らしたりしないでください。録音が正常に行われない可能性があります。
- スリープタイマー動作中は録音できません。

お知らせ

- 録音中に本機の音量や音質を変えても、録音される音声には影響ありません。
- 録音時、CD のランダム再生やリピート再生はできません。
- ファイル形式は MP3（ビットレート:192 kbps）で録音されます。
- ファイル、フォルダの構造については「録音されるファイル」（32 ページ）をご覧ください。

録音速度を選ぶ(デジタル録音時のみ)

CD をデジタル録音するときは、録音速度を設定することができます。

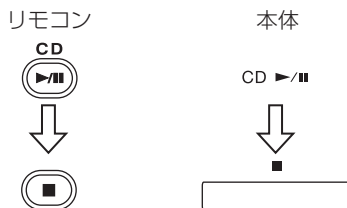
ソース（音源）が「CD」のときに

１度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

NORMAL：通常速度、録音中に音が聞けます
HIGH　：高速（約 2 倍速）、録音中は音が聞けません
　　　　設定中は「HIGH」アイコンが点灯します

- 設定は電源を切っても記憶されます。

音楽 CD をデジタル録音する

1　ソース（音源）を「CD」にして再生を停止する

2　録音を始めたい曲を選ぶ

- 選んだ曲から CD の最後の曲まで録音されます。CD の全曲を録音したいときは 1 曲目を選んでください。
- お好みの曲順で録音したいときは、プログラムをして再生停止にしておいてください。（15 ページ）

3　録音する

「RECSTART」と表示され、REC インジケーターが点灯します。

CD の最後まで録音が終わると、自動的に停止し REC インジケーターが消灯します。

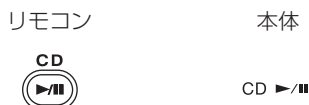
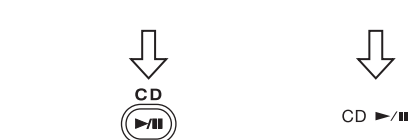
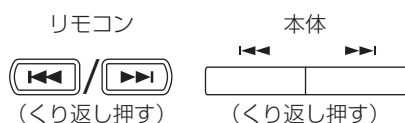
- 途中で録音を停止したいときは[■]を押します。

お知らせ

- 曲ごとにファイルができます。

音楽 CD から 1 曲だけデジタル録音する

1 曲だけ選んで録音することもできます。

1　ソース(音源)を「CD」にする

2　録音をしたい曲を選び、再生または一時停止にする

3　録音する

その曲の最初から録音が始まります。

「RECSTART」と表示され、REC インジケーターが点灯します。

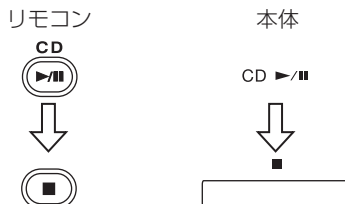
1 曲録音が終わると、自動的に停止し REC インジケーターが消灯します。

- 途中で録音を停止したいときは[■]を押します。

音楽 CD をアナログ録音する

SCMS(32 ページ)によりデジタル録音できない場合などは、アナログ録音してください。

- 録音は通常速度です。録音中に音が聞けます。

1　ソース(音源)を「CD」にして再生を停止する

2　録音を始めたい曲を選ぶ

- 選んだ曲から CD の最後の曲まで録音されます。CD の全曲を録音したいときは 1 曲目を選んでください。
- お好みの曲順で録音したいときは、プログラムをして再生停止にしておいてください。(15 ページ)

3　録音待機にする

アナログ録音モードになり、「ANLG REC」表示が点滅します。

4　録音を始める

「ANLG REC」表示が点滅中に

「RECSTART」と表示され、REC インジケーターが点灯します。

CD の最後まで録音が終わると、自動的に停止し REC インジケーターが消灯します。

- 途中で録音を停止したいときは[■]を押します。

お知らせ

- 曲を再生中または一時停止中に、[録音/削除]を長押しすると、その曲だけの 1 曲録音ができます。
- 曲ごとにファイルができます。

ラジオ/外部機器を録音する

ラジオ放送や外部機器の音を USB 機器に録音することができます。

- 外部機器から録音する場合は、接続して音声入力レベルを調節しておいてください。(23 ページ)
- 録音は通常速度です。録音中に音が聞けます。

録音する

1 **録音したいソース(音源)を選ぶ**

2 **録音する**

- 外部機器から録音する場合は、外部機器の再生を始めてください。

「RECSTART」と表示され、REC インジケーターが点灯します。

- マーキングの設定(下記)を「MANUAL」に設定したときは、録音中に曲を区切りたい(別のファイルにしたい)ところで[決定]を押します。

3 **録音を停止する**

REC インジケーターが消灯します。

ご注意

- 録音ファイルが 2 GB(約 20 時間)に達した場合、自動的に録音が停止します。

録音中に曲を区切る(マーキング)

ラジオ/外部機器の録音中に曲を区切って(マーキング)、ファイルを分けることができます。マーキングを手動で行うか、自動で行うかを設定します。

- 録音を始める前に設定しておいてください。

ソース(音源)が「FM」「AM」または「AUDIO IN」のときに

1 **マーキング設定を確認する**

現在の設定を表示します。

2 **設定する**

(くり返し押す)

押すたびに設定が切り換わります。

MANUAL ： 自動的には曲を区切りません
録音中に[決定]を押すたびに曲を区切ります

TIME ： 5 分ごとに自動的に曲を区切ります

- 曲が区切られるとき、約 1 秒間音が途切れます。
- 設定は電源を切っても記憶されます。

曲を削除する

USB 機器に録音されている曲を 1 曲ずつ削除することができます。

- 曲を削除する前に、USB 機器を USB 端子に接続してください。
- 削除した曲は元に戻すことができません。削除するときは、よく確認してください。

1 **ソース(音源)を「USB」にする**

リモコン　　本体

(iPod)
USB
►/II

USB
►/II
(iPod)

2 **削除したい曲を選び、再生または一時停止にする**

3 **削除待機にする**

「PUSH SET」表示が点滅し、削除待機になります。

- [キャンセル]または[■]を押すと、削除を中止します。

4 **削除する**

「DELETE」と表示され、ファイル削除が終わると「FINISH」と表示されます。

タイマーを使う

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。

（くり返し押す）

押すたびに電源が切れるまでの時間（単位：分）が次のように切り換わります。

SLEEP 10 ➡ SLEEP 20 ➡ SLEEP 30 ➡
SLEEP 60 ➡ SLEEP 90 ➡ SLEEP 120 ➡
SLEEP 150 ➡ SLEEP 180 ➡ SLEEP OFF ➡
（最初に戻る）

- スリープタイマーが設定されているときは、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- スリープタイマーを解除するときは、「SLEEP OFF」を選んでください。

お知らせ

- スリープタイマーの動作中もオートパワーセーブ（11 ページ）は有効です。

残り時間を確認する

[スリープ]を 1 回押す

残り時間を 5 秒間表示します。

デイリータイマーを設定する

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

- あらかじめ時計を合わせておいてください。（10 ページ）
- あらかじめソース（音源）を準備し、動作することを確かめてください。

1　「PLAY TMR」を選び、決定する

（くり返し押す）

- デイリータイマー選択前の表示です。

2　「PLAY SET」を選び、決定する

（くり返し押す）

3　タイマーの内容を設定し、決定する

（くり返し押す）

以下の各項目を設定してください。

- タイマーの開始時刻と終了時刻の「時」、「分」
- 再生するソース（音源）
  「CD」、「USB」、「TUNER」、「AUDIO IN」から選びます
  - 「CD」または「USB」のときは曲番号（USB 端子に iPod を接続しているときは、iPod で選択されている曲から再生が始まります）
  - 「TUNER」のときはプリセット番号
- 音量

音量まで設定が終わると、「PLAY SET」と表示されたあと、設定内容が順番に表示されます。

次ページへつづく

4 電源を切る

リモコン　本体

電 源　⏻/I

- デイリータイマーの開始時刻約 30 秒前になると自動的に電源が入り、再生が始まります。
- デイリータイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- デイリータイマーが設定されているときは、「PLAY」アイコンが点灯します。
- デイリータイマーの作動中は、「PLAY」アイコンが点滅します。
- デイリータイマーは、1 度設定すれば毎日同じ内容で作動します。
- 開始時刻と終了時刻に同じ時刻を設定することはできません。

お知らせ

- 操作の途中で[キャンセル]を押すと前の手順に戻ります。
- デイリータイマーの動作中もオートパワーセーブ（11 ページ）は有効です。
- デイリータイマーの動作中は、[スリープ]ボタンは無効になります。

デイリータイマーを解除する

「PLAY TMR」から「PLAY OFF」を選び、解除する

TIMEROFF

1 度解除したデイリータイマーを、内容を変えずに再設定する

「PLAY TMR」から「PLAY ON」を選び、再設定する

「TIMER ON」と表示されたあと、設定内容が表示されます。

録音タイマーを設定する

ラジオ放送や外部機器をタイマー録音できます。

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(10 ページ)
- あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。

1 **「REC TMR」を選び、決定する**

REC
REC TMR

- 録音タイマー選択前の表示です。

2 **「REC SET」を選び、決定する**

3 **タイマーの内容を設定し、決定する**

以下の各項目を設定してください。

- タイマーの開始時刻と終了時刻の「時」、「分」
- 再生するソース(音源)
  「TUNER」または「AUDIO IN」から選びます
  - 「TUNER」のときはプリセット番号
- 音量

音量まで設定が終わると、「REC SET」と表示されたあと、設定内容が順番に表示されます。

4 **電源を切る**

リモコン
電源

本体

- 録音タイマーの開始時刻約 30 秒前になると自動的に電源が入り、録音が始まります。
- 録音タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 録音タイマーが設定されているときは、「⏻REC」アイコンが点灯します。
- 録音タイマーの作動中は、「⏻REC」アイコンが点滅します。
- 録音タイマーは、設定後 1 度だけ作動します。(終了後も設定内容は保存されています。)
- 開始時刻と終了時刻に同じ時刻を設定することはできません。

お知らせ

- 操作の途中で[キャンセル]を押すと前の手順に戻ります。
- 録音タイマーの作動中は、[時計/タイマー]および[スリープ]ボタンは無効になります。

録音タイマーを解除する

「REC TMR」から「REC OFF」を選び、解除する

TIMEROFF

録音タイマーを内容を変えずに再設定する

「REC TMR」から「REC ON」を選び、再設定する

「TIMER ON」と表示されたあと、設定内容が表示されます。

その他の機能

サウンドモードを使う

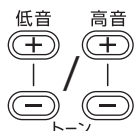
曲の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。

（くり返し押す）

表示例:

１度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

- 「TONE」を選ぶと、マニュアルで設定した低音/高音の音質になります。設定方法については下記"お好みの音質に設定する" をご覧ください。

お好みの音質に設定する

（くり返し押す）

押すたびにそれぞれ以下の範囲で調節できます。
低音　：BASS -8 から BASS +8
高音　：TREBLE -8 から TREBLE +8

- [低音+/-]/[高音+/-]を押すと、サウンドモードが「TONE」になり、設定した音質になります。

重低音を強める

（くり返し押す）

OFF ←→ EX BASS

押すたびに「OFF」と「EX BASS」に切り換わります。（初期設定は「OFF」です）。

お知らせ

- サウンドモードおよび重低音（EX.BASS）は、ヘッドホンからの音声にも効果があります。

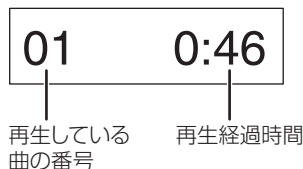
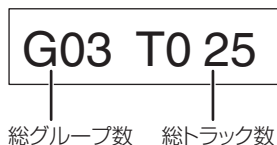
表示される情報を変える

（くり返し押す）

押すたびに時計表示や各種の情報表示に切り換わります。

- ソース（音源）によって、表示される情報は異なります。
- 本機は ID3 TAG VERSION1,2（曲名、アーティスト名、アルバム名）、ファイル名、フォルダ名を表示できます（ただし半角英数字のみ、小文字は大文字で表示されます）。
- 「iPod」ではタグ情報は表示されません。

表示例:時計

表示例：音楽 CD 再生中

表示例：MP3/WMA ファイル停止中

その他

再生できる iPod

Made for (対応 iPod)	バージョン＊
iPod nano（第 7 世代）	1.0.2
iPod nano（第 6 世代）	1.2
iPod nano（第 5 世代）	1.0.2
iPod nano（第 4 世代）	1.0.4
iPod nano（第 3 世代）	1.1.3
iPod nano（第 2 世代）	1.1.3
iPod touch（第 5 世代）	6.1.3
iPod touch（第 4 世代）	6.1.3
iPod touch（第 3 世代）	5.1.1
iPod touch（第 2 世代）	4.2.1
iPod touch	3.1.3
iPod classic	2.0.4
iPhone 5	6.1.3
iPhone 4S	6.1.3
iPhone 4	6.1.3
iPhone 3GS	6.1.3
iPhone 3G	4.2.1

＊動作確認時のソフトウェアのバージョン

- iPod/iPhone が正しく再生されないときは、iPod/iPhone をリセットしてみてください。（リセット方法は、アップル社のウェブサイトをご覧ください。）
- iPod/iPhone について詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>
- iPod/iPhone の最新の対応状況については、弊社ホームページをご覧ください。

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH 2.1+EDR に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。

再生できる CD とファイル

- CD 規格（CD-DA）に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。
CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。
ファイル	• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW • CD-R/CD-RW または USB 機器の MP3/WMA ファイル

USB 機器のご注意

- USB 機器の容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、本機の AUDIO IN 端子に接続して再生してください。（23 ページ）
- USB 機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- USB 機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機の電源が入っているときは、USB 機器に電源供給および充電されます。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- USB 機器の取扱説明書もご覧ください。

CD-R/CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式（UDF フォーマット）は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。（フォルダやファイルの構成により読み取り時間は異なります。）

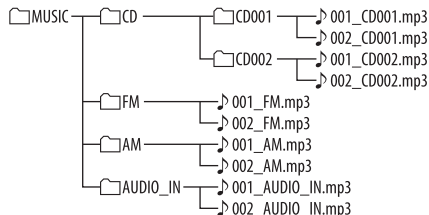
MP3/WMA ファイルのご注意

- 再生できる MP3/WMA ファイルは<.mp3> または<.wma>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成された MP3/WMA ファイルを再生できます。

サンプリング周波数:		32/44.1/48 kHz
転送レート:	MP3:	32 kbps ～ 320 kbps
	WMA:	32 kbps ～ 320 kbps

- 本機は USB 機器 1 台あたり最大 300 のグループおよび 999 の曲を認識します。また、CD1 枚あたり最大 99 のグループおよび 999 の曲を認識します。
- DRM ファイルは再生できません。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3/WMA ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- MP3/WMA ファイルの再生順について
  （MP3/WMA ファイルを含まないフォルダは無視されます。）
  - 再生時は、先に作成したグループから順番に再生します。グループ内では、録音した曲順で再生します。
  - パソコンを使ってフォルダ名（グループ名）やファイル名（曲名）を変えた場合は、順番が変わることがあります。

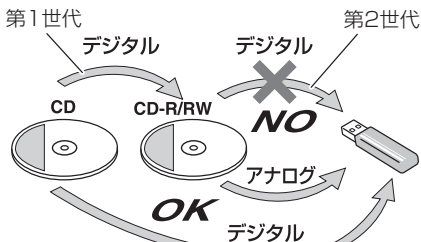
録音されるファイル

- 本機で録音してできるファイルは、ビットレートが 192 kbps の MP3 ファイルです。
- USB 機器に「MUSIC」フォルダが自動的に作成され、さらにその中に以下のように MP3 ファイルが録音されます。

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）

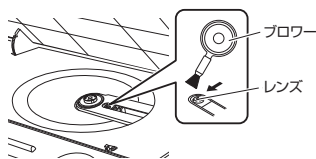
CD のクリアな音を他のデジタル機器（MD、メモリー、USB など）にデジタル録音した場合、1 度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりを SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）といいます。

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは 1 世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

- この規定により 1 度デジタル録音された CD からは、USB 機器へデジタル録音することはできません。

お手入れについて

CD プレーヤーのレンズのお手入れ

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。CD トレイのカバーを開け、図のようにレンズを清掃してください。

- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使って、はき出してください。
- 市販の CD レンズクリーナー（乾式タイプ）を利用してください。

困ったときは

問題の多くは、当社ホームページ

http://www2.jvckenwood.com/

や以下の QR コードから最新の製品 Q&A 情報をご覧いただくことで解決できます。サービス窓口にご相談になる前に下記をチェックしてください。

（QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です）

- PC サイトです。
- サイトの内容は予告なく変更になることがあります。

以下の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、1 度電源コードをはずし、しばらく待ってから接続し直してください。

共通

電源が入らない。

➡ AC アダプターを正しく接続してください。

突然電源が切れてしまう。

➡ オートパワーセーブ（節電機能）が働いています。（11 ページ）

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう 1 度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

➡ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていませんか。

➡ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聞こえない。

➡ 音量が最小になっていませんか。

➡ ヘッドホンをはずしてください。

iPod

iPod を再生できない/認識できない。

➡ USB ケーブルを正しく接続してください。

➡ お使いの iPod が本機で再生できるか確認してください。（31 ページ）

➡ iPod の電池が消耗していませんか。iPod の電池を充電してください。

➡ iPod をはずした状態で、iPod をリセットし、本機の電源コードを抜き差ししてください。（iPod のリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください。）

USB 機器/CD

再生できない。

➡ USB 機器を正しく接続してください。

➡ CD はラベル面を上にして入れてください。

➡ CD またはレンズが汚れていませんか。CD またはレンズを清掃してください。

➡「パケットライト方式(UFD フォーマット)」で録音された CD は再生できません。

➡ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。本機の AUDIO IN 端子に接続してください。（23 ページ）

MP3/WMA のグループやトラックが意図したように再生できない。

➡ 再生順は、グループやトラックを録音した書き込みソフトによります。

USB 機器や CD からの音声が途切れる。

➡ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してください。

➡ 正しく書き込まれた MP3/WMA ファイルを再生してください。

➡ 本機の電源を切り、USB 機器を接続し直してください。

USB 機器に録音したファイルを CD-R にコピーしたい。

➡ パソコンでの操作になりますので、お使いのパソコンのメーカーにご相談ください。

ラジオ

放送が聞こえない。

➡ アンテナを正しく接続してください。(8 ページ)

雑音が多く放送が聞きづらい。

➡ アンテナを調節してください。

➡ 本機の電源を切り、入れ直してください。

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

➡ BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。

➡ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの A2DP に対応しているか確認してください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

➡ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの AVRCP に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

➡ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけたり、場所を変えて試してみてください。

録音

録音できない。

➡ USB 機器の空き容量がありません。

➡ USB 機器の書き込み禁止を解除してください。

➡ SCMS でデジタル録音が禁止されています。アナログ録音してください。(25 ページ)

タイマー

スリープタイマーが設定できない。

➡ デイリータイマーまたは録音タイマーが働いていませんか。デイリータイマー/録音タイマー中は、スリープタイマーは働きません。

デイリータイマーが作動しない。

➡ 電源が入っていませんか。デイリータイマーを作動させるには、電源を切ってください。

録音タイマーが作動しない。

➡ 電源が入っていませんか。録音タイマーを作動させるには、電源を切ってください。

商標

- “Made for iPod”、“Made for iPhone” とは、それぞれ iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリーを iPod、iPhone で使用すると、無線性能に影響することがありますので、ご注意ください。
- iPhone,iPod,iPod classic,iPod nano,iPod touch は米国および他の国々における Apple Inc.の商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらの商標を使用する許可を受けています。
- Android は、Google Inc.の商標および登録商標です。

主な仕様

本体（RD-MEA3-R/RD-MEA3-T/RD-MEA3-W）

アンプ部

実用最大出力:	15 W + 15 W (JEITA* 8Ω)

CD プレーヤー部

対応ファイル形式:	音楽 CD、MP3、WMA

チューナー部

受信周波数:	FM: 76.0 MHz - 90.0 MHz
	AM: 531 kHz - 1 629 kHz
アンテナ:	FM: 75 Ω 不平衡型
	AM: ループアンテナ

入出力端子

USB:	出力:	DC 5 V ⎓ 1 A
	仕様:	USB2.0 フルスピード規格対応
	対応機器:	USB マスストレージクラス機器
	ファイルシステム:	FAT16、FAT32
	対応ファイル形式:	MP3、WMA
AUDIO IN:	ステレオミニ（ø 3.5 mm）x 1	
	LEVEL 1: 500 mV/47 kΩ	
	LEVEL 2: 250 mV/47 kΩ	
	LEVEL 3: 125 mV/47 kΩ	
PHONES:	ステレオミニ（ø 3.5 mm）x 1	

BLUETOOTH 部

規格:	BLUETOOTH Ver. 2.1 + EDR
送信出力:	Class 2
最大通信距離:	見通し距離約 10 m （使用環境によって異なります）
使用周波数帯域:	2.4 GHz 帯
対応 BLUETOOTH プロファイル:	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) SPP（Serial Port Profile）

共通部

付属 AC アダプター（AC-200260A）:	入力: AC 100 V - 240 V ～ 、50 Hz/60 Hz、1.5 A - 0.5 A 出力: DC 20 V ⎓ 2.6 A
消費電力:	18 W（動作時） 6.0 W 以下（BLUETOOTH スタンバイ時） 0.50 W 以下（電源待機時）
最大外形寸法:	幅 256 mm × 高さ 75 mm × 奥行き 196 mm
質量:	約 1.0 kg

スピーカー（LS-MEA3-R/LS-MEA3-T/LS-MEA3-W）

システム:	フルレンジ　バスレフ型
スピーカーユニット:	6 cm　コーン型
インピーダンス:	8 Ω
最大入力:	20 W (JEITA*)
最大外形寸法:	幅 85 mm × 高さ 175 mm × 奥行き 171 mm
質量（1 本あたり）:	1.0kg

*は JEITA（電子情報技術産業協会）の測定法に基づく数値です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

1. 保証について

- 保証書－製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「お買い上げ日」・「販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間－お買い上げの日より 1 年間です。
  電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「ケンウッド全国サービス網」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「ケンウッド全国サービス網」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

① 技術料 ： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
② 部品代 ： 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
③ 出張料 ： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
④ 送料 ： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターへお申しつけください。

2012年7月現在

北海道				
札幌サービスセンター	〒 004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎	(011) 807-3003
東北				
仙台サービスセンター	〒 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎	(022) 287-0151
関東・信越				
さいたまサービスセンター	〒 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎	(048) 778-8714
千葉サービスセンター	〒 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎	(04) 7175-4322
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎	(045) 939-6242
八王子サービスセンター	〒 192-8525	八王子市石川町2967-3	☎	(042) 646-6914
新潟サービスセンター	〒 950-0913	新潟市中央区鐙1-5-23	☎	(025) 245-2177
東京サービスセンター	〒 135-0023	江東区平野3-2-6　木場パークビル1F		
（修理持込専用窓口）	電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにて承ります。			
中部・甲州				
名古屋サービスセンター	〒 481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎	(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎	(054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎	(076) 269-4821
近畿・四国				
大阪サービスセンター	〒 532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎	(06) 6390-8005
高松サービスセンター	〒 761-8057	高松市田村町205-1	☎	(087) 802-6055
中国				
広島サービスセンター	〒 730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎	(082) 241-0023
九州				
福岡サービスセンター	〒 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡3F	☎	(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〒 891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎	(099) 268-0030
沖縄サービスセンター	〒 901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎	(098) 898-3631

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950　　FAX 045-450-2308
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
　　　　　土曜　　　　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

① 保証書のご提示のない場合。

② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。

③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。

④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。

⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。

⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。

⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等）

⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。

⑨ 消耗部品(例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池、イヤーチップ等) の交換。

⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

7. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧の上、サービス窓口へお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証書

持込修理用
（日本国内専用）

品名	コンパクトハイファイ コンポーネント システム	形名	M-EA3
保証対象	本体	保証期間	（お買い上げ日より） 1 年間
※お買い上げ日	年　月　日		
※お客様	お名前　様		
	ご住所		
	電話番号　（　　）		
※販売店	店名		
	住所		
	電話番号　（　　）		

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　横浜市神奈川区守屋町3-12